

震災からの創造的復興、融合施設への挑戦



須賀川市民交流センター tette

須賀川市のプロフィール

須賀川市



福島県

人口 75,355人

世帯数 27,662世帯

市域面積 279.43km²

[令和2年8月1日現在]

東北縦貫自動車道、国道4号
東北新幹線、東北本線、水郡線
福島空港があり、
福島県内で最も高速交通条件に恵ま
れている地域

東北地方



東北縦貫
自動車道

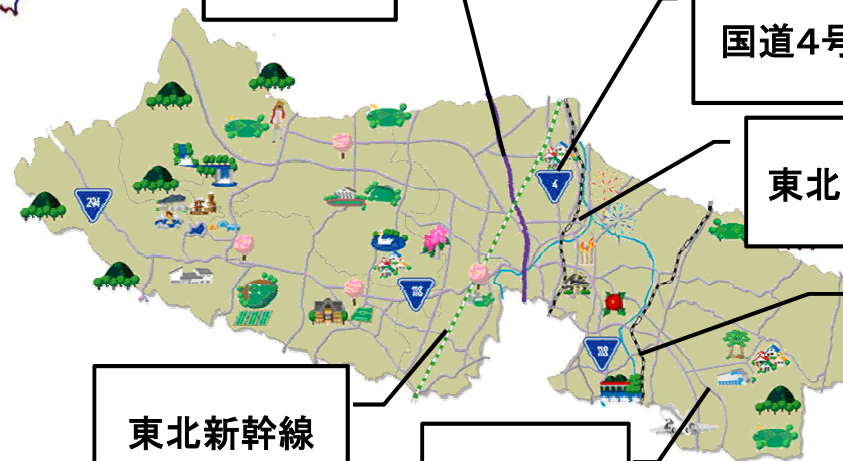
国道4号

東北本線

水郡線

東北新幹線

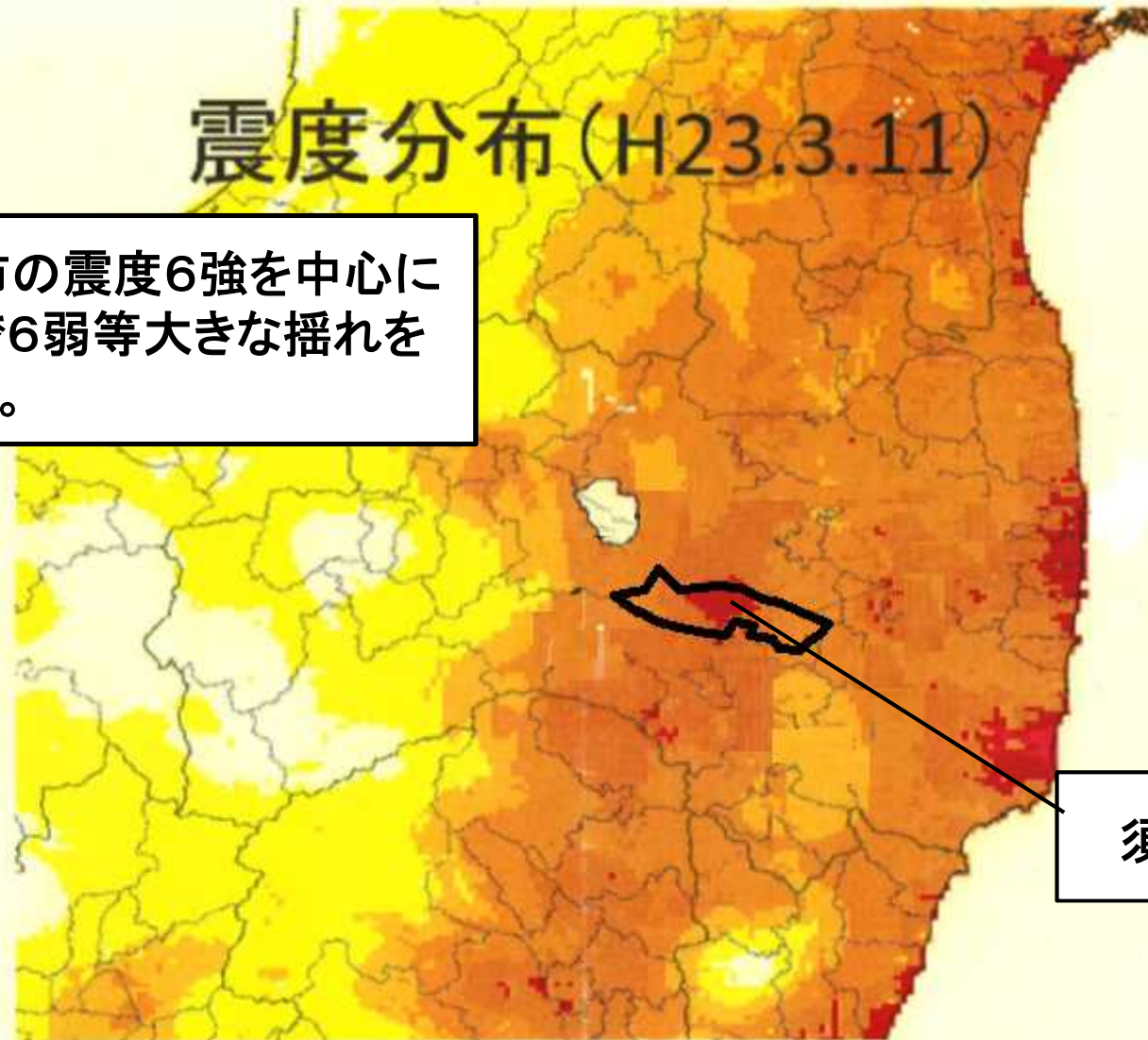
福島空港



I 東日本大震災

震度分布 (H23.3.11)

須賀川市の震度6強を中心に
郡山市で6弱等大きな揺れを
観測した。



須賀川市

【震源要素】
2011年03月11日14時46分 三陸沖 M7.9
【震動時刻】
2011年03月11日15時01分

震度 4 5弱 5強 6弱 6強 7

■ 須賀川市被災状況

● 被災状況の概要

- ・人的被害 死者10名、行方不明者1名
- ・住家被害(平成24年5月22日現在)

区分	全壊	大規模 半壊	半壊	一部損壊	計	備考
件数	1, 249	418	3, 085	10, 553	15, 305	全家屋の 約57%

- ・主な公共施設被害(建物)

【本庁舎】 主要構造躯体に甚大な損傷を受け解体

【総合福祉センター】 主要構造躯体に甚大な損傷を受け解体

【第一小学校】 主要構造躯体に甚大な損傷を受け解体

● 避難所開設期間と避難者数

- ・開設期間 平成23年3月11日(金)～8月30日(火)

- ・ピーク時避難者数 2, 066人 ※3月13日(日)

3月11日には市内29か所に避難所を開設し、5月10日に4か所
(須賀川アリーナ、中央公民館、市民スポーツ会館、稲田地域体育館)
に統合



市庁舎の状況(全壊)



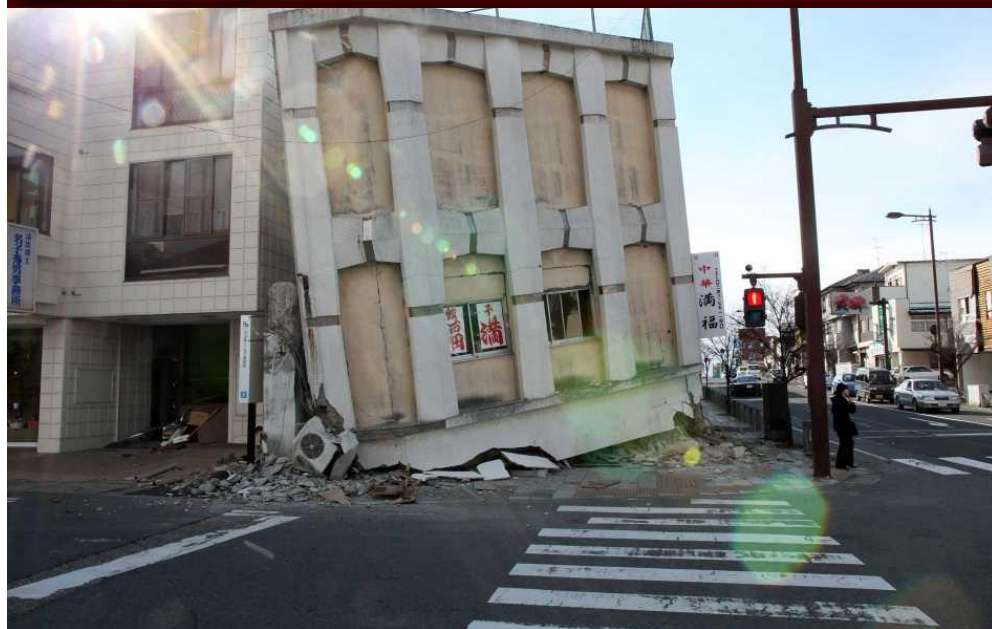
総合福祉センターの状況(全壊)



市図書館の状況



市内の状況





避難所(市体育館・アリーナ)

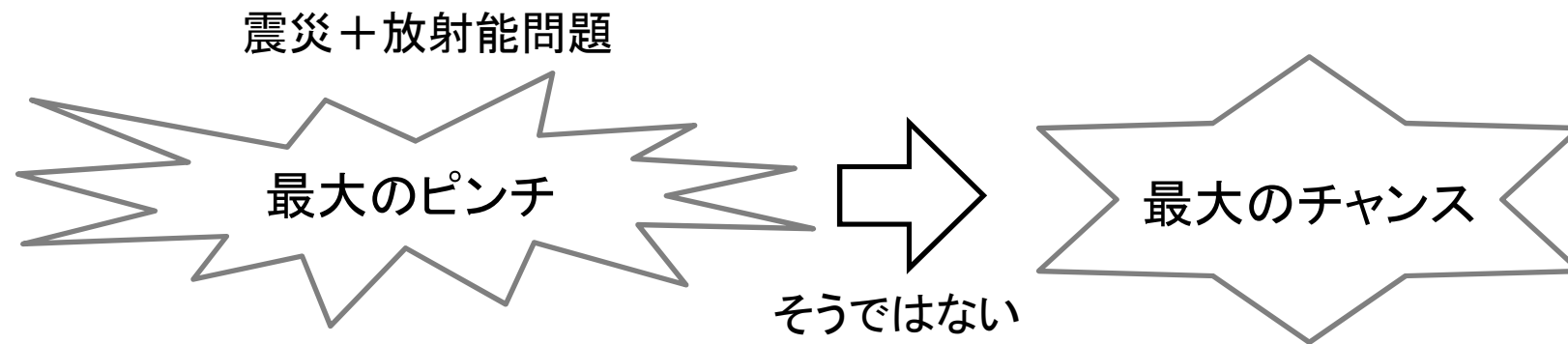


災害窓口(市体育館内)

業務体制

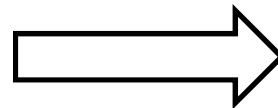
(庁舎全壊のため、市体育館内卓球台で業務)

Ⅱ 単なる復旧ではない創造的復興



ピンチをチャンスに

単なる復旧
(建物の復旧)



創造的復興
(新たなまちづくり)

1 市民交流の拠点及び 中心市街地の再生・活性化の中核施設を整備

老朽化、狭隘化している図書館、公民館を
まちなかに移転し、複合化を図る



図書館や公民館の持つ集客力をまちづくりに生かす



図書館を核とした、生涯学習機能、子育て支援機能、市民活動支援機能などを有する複合施設を整備



- ・プロジェクトの専任組織(整備室)を設置するとともに、図書館や公民館など生涯学習部門を教育委員会部局から市長部局へ移管
- ・大規模複合施設を円滑に運営するため、直営方式による施設運営を選択(部制)

2 今までにない施設づくり

① 新しい発想による設計

安田東工大教授(須賀川市建築アドバイザー)からのアドバイス

- ・今までにない新しい考え方の施設建築を創出するには
 - ①既成概念に捕らわれない柔軟で若々しい発想力、豊かな創造性
 - ②豊富な経験に基づく高い技術をまとめあげていく熟達した設計力の両方が必要



若手建築家と大手建築事務所との設計コラボレーションによる
技術提案方式プロポーザル方式を採用



複合から機能融合

- ・各機能を吹き抜けやスロープ、交流スペースなどで緩やかに繋ぐ空間構成
- ・人や本と出会う空間、市民活動を繋ぐ空間を創出

② 市民の声を反映した施設

35回の市民ワークショップを開催



中・高校生から大学生を含め延べ700人の市民が参加



施設の導入機能や設計、
活用方法に反映

③ 市民との協働による施設の運営

■tetteパートナーズクラブの創設

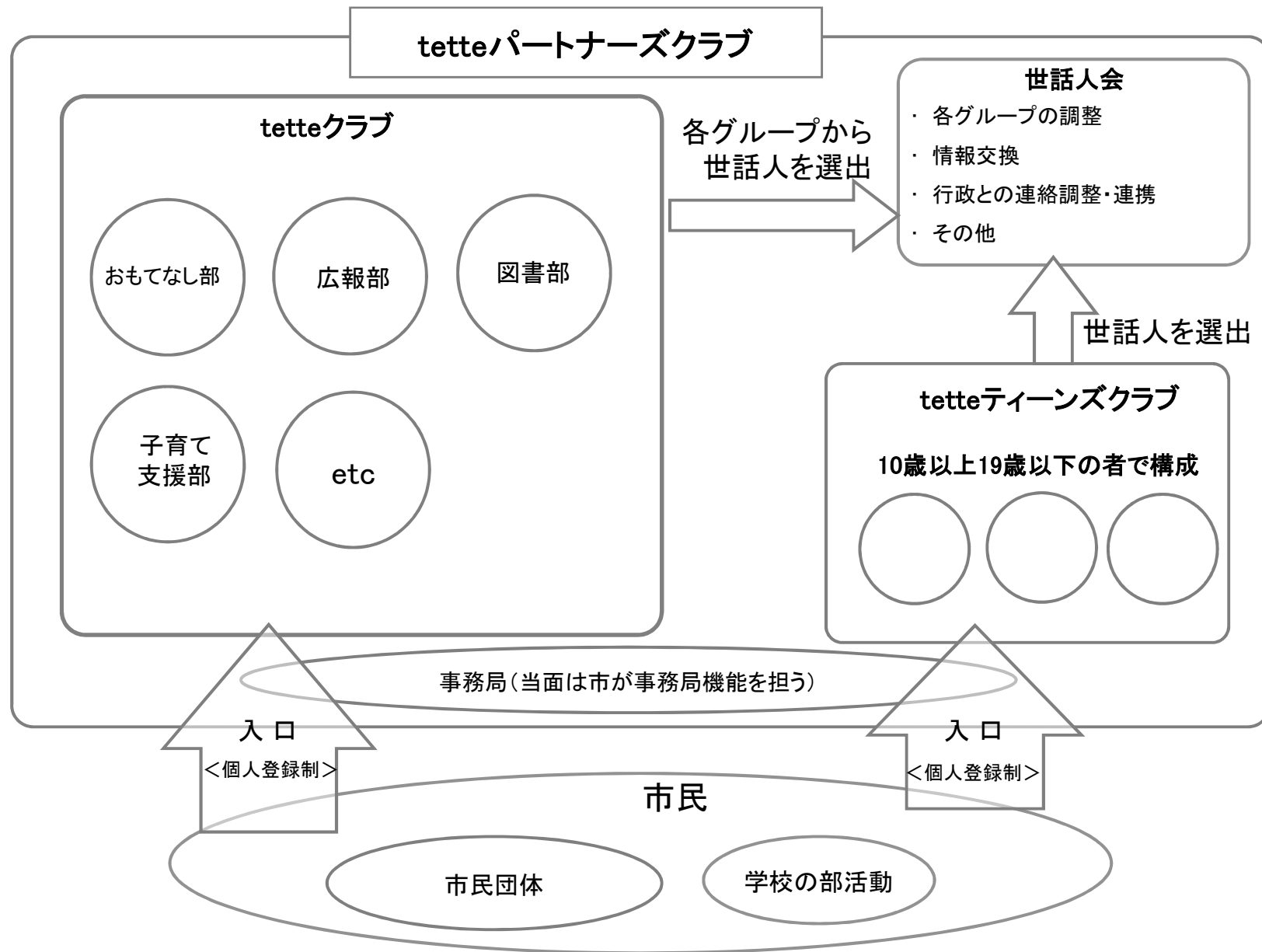
■市民活動団体と連携した事業の展開

■市民や市内企業を講師とする事業(人材の地産地消)



子育て支援センター事業 × 子育てサークル

■tetteパートナーズクラブ



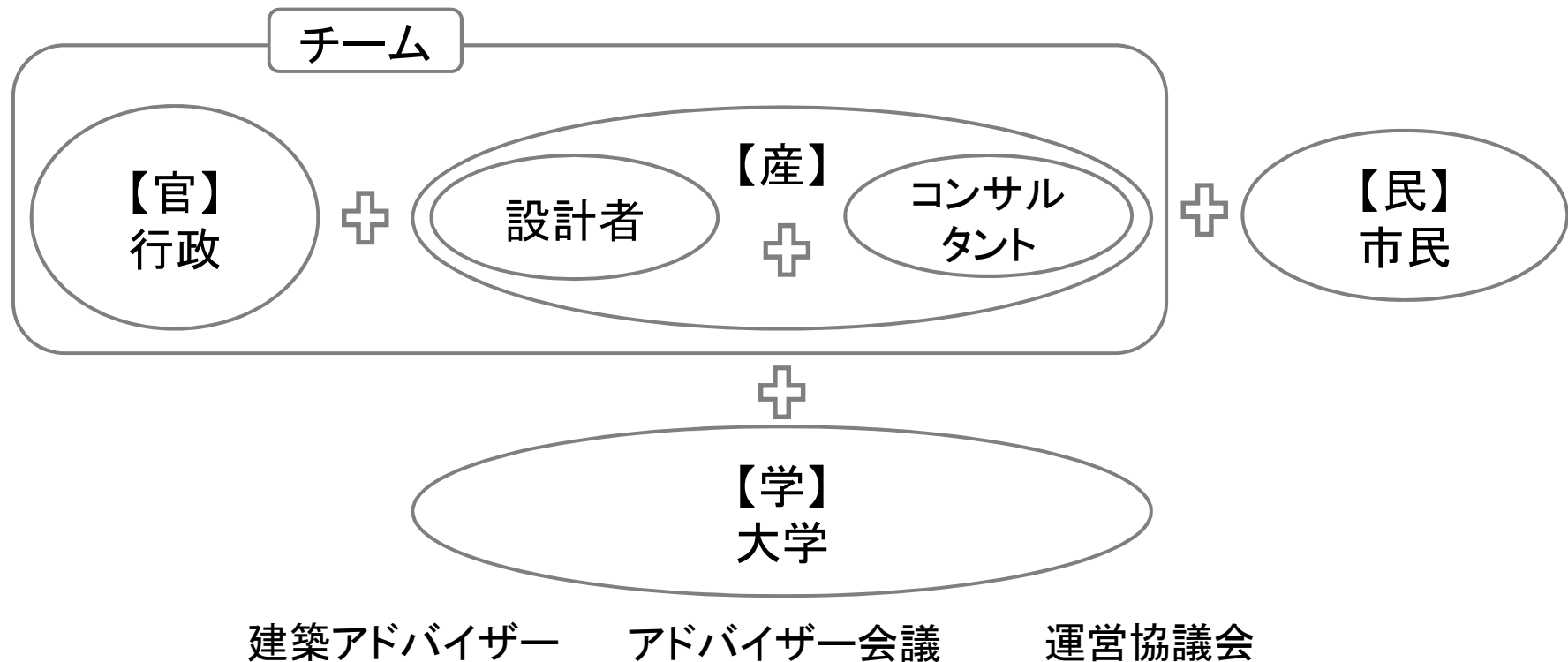
④ 産・学・官・民の連携

産（設計事務所、コンサルタント(図書館、協働、デザイン)）

学（建築アドバイザー、運営協議会）

官（行政）

民（市民ワークショップ、運営協議会、パートナーズクラブ）



計画・設計時

- ・設計段階から行政と設計事務所、図書館コンサルタント、アートディレクター、建築アドバイザー(大学教授)とチーム体制で取り組む
- ・導入機能や活用方法などに関する市民ワークショップを35回開催し、延べ700人以上の市民(若年層に参加してもらうため、中高生、大学生限定の回を設けた)が参加し、それらの意見を反映
- ・「tetteパートナーズクラブ設立準備会」を設置し、市民との協働による運営を推進するための仕組みづくりを一緒に考える

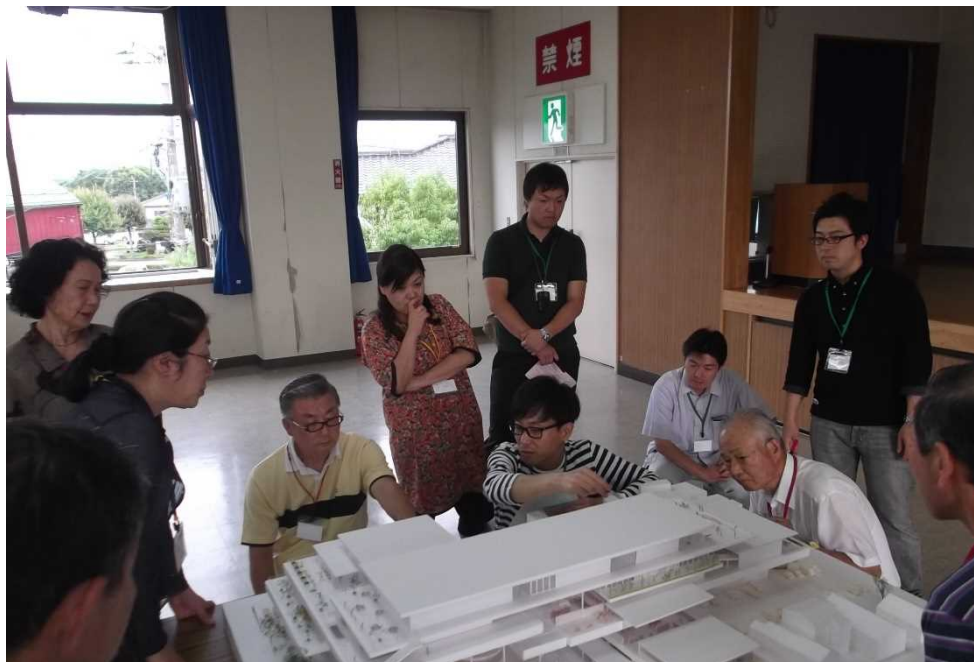
開館後

- ・行政と設計事務所、図書館コンサルタント、アートディレクター、建築アドバイザー(大学教授)などで構成する「**アドバイザー会議**」を設置
- ・学識経験者・市民活動団体・地元商店街・公募市民などで構成する「**市民交流センター運営協議会**」を設置し、開館後の運営について協議
- ・個人登録型ボランティア「**tetteパートナーズクラブ**」を設置し、市民との協働による運営を推進(20歳以上は「tetteクラブ」、20歳未満は「tetteティーンズクラブ」の2部構成)



パートナーズクラブ設立準備会(市民公募委員＋市の関係課職員)





市民ワークショップ × 設計



中・高校生ワークショップ × 活用方法



産×学×官×民 (運営協議会)



産×学×官×民 (アドバイザー会議) 17



オープニングイベントで活躍した
tetteティーンズクラブ



アンブレラスカイの講座に参加した
tetteクラブ



環境美化を行うtetteパートナーズクラブ

市民 × tette

tette運営の様々なシーンで活躍する市民の皆様。
イベントや講座の運営から施設の環境美化、図書館のポップ作成や配架まで、自分たちの得意分野を活かして活動しています。



パートナーズクラブおすすめ本のポップ製作



図書整理



リサイクル広場

Ⅲ 図書館

1 全館配架

- ・施設内に一步踏み入れるとそこは図書館。図書館エリア以外のスペースにも本を配架し、どこでも読める環境をつくり、自然と本に触れあえる機会を創出。どこでも学べる図書館。
- ・人を通じた本との出会い、本を通じた人との出会いを生む空間を創出



1階tette通りに地元の新聞やカフェ向きの本を配架 20



市民活動サポートセンター × 市民活動関係本



カフェ × 本



わいわいパーク(屋内遊び場) × 絵本



子育て支援センター × 育児本・絵本



活動 × 本

貸ルームや交流スペースエリアに活動に合った本を配架することで本に触れる機会を創出

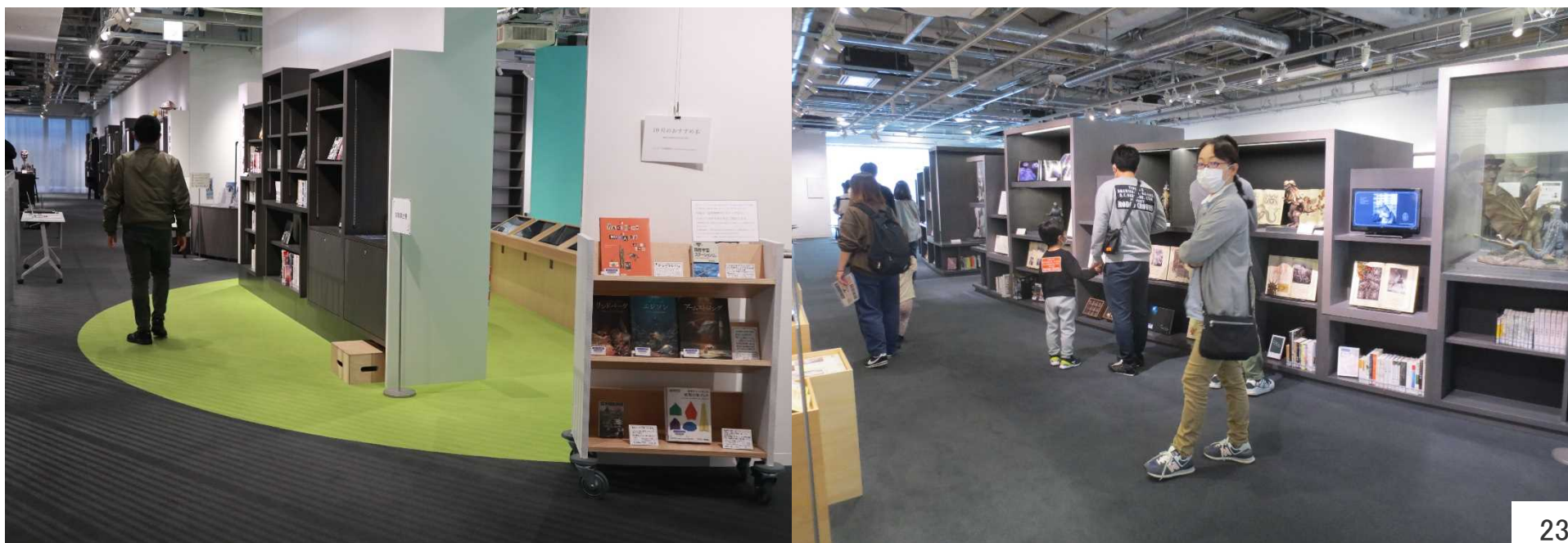




円谷英二ミュージアム

須賀川市出身で、ゴジラやウルトラマンを生んだ特撮の神様・円谷英二監督のミュージアム。初代ゴジラの再現スーツや監督が活躍した東宝撮影所のジオラマなどを展示。展示棚には図書館の本も配架し閲覧・貸出ができる。

円谷英二ミュージアム × 特撮関連本

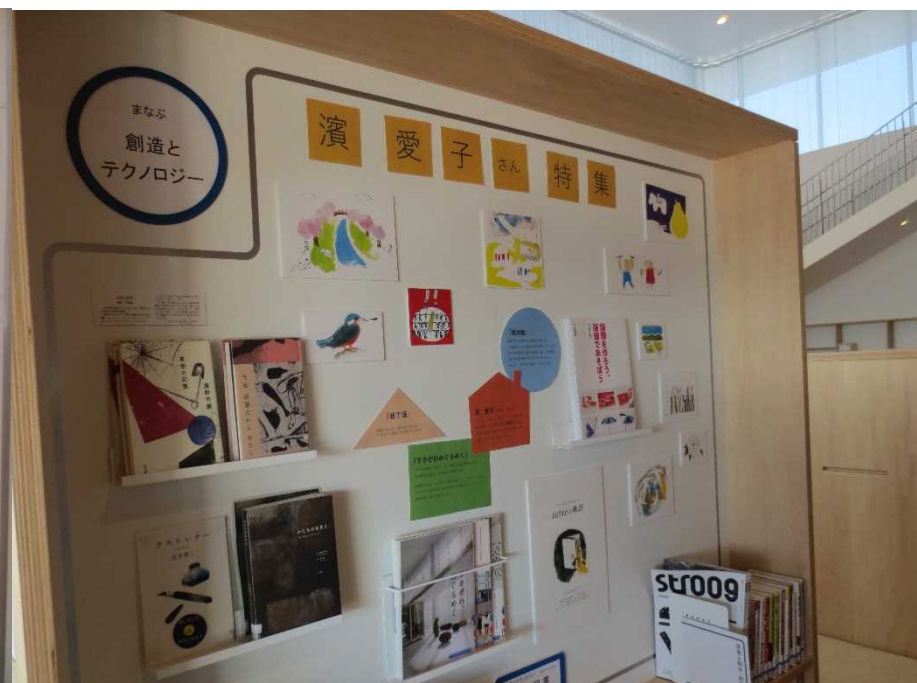


2 テーマ配架

テーマの目印になる高い書架は、3階に8台ある。展示用ガラスケース付可動書架とともに、季節ごとの企画展示で活躍している。



<心と体> コロナウイルス特集



<創造とテクノロジー> 作家の特集

＜政策 × 本＞

テーマ配架の一つとして、政策と本の融合を意識している。
ハザードマップ改訂に合わせてコーナーを設けたり、tette通りに出店しているチャレンジショップの近くに創業支援コーナーを設けるなどしている。



チャレンジショップ × 起業関係本



＜社会と仕事＞ SDGs



＜自然と科学＞ 防災と災害

3 わくわくする配架

<可動書架>



書架の間にあるスペースに入れて使う。企画展示での単独使用も多い。空いたスペースの代わりに、同サイズの可動ソファを入れて座席を確保することもできる。



変化に富んだ書架レイアウト



こどもライブラリーの家形ベンチ

4 各機能との融合



映像 × 本 × coffee



コミュニティFM × 本(朗読)

コミュニティFM

tette4階にある「ウルトラFM」(公設民営)で毎月、図書館の新鮮な情報を放送しているほか、コロナウイルス対策期間中に自宅でも本の世界を楽しんでもらえるよう、子ども向けのお話や、郷土の偉人を紹介する話の朗読などを開始。

5 図書館資料のディスプレイ

市の文化や観光、人物等に関する、地域資料の展示を行っている。



福島県の日本酒

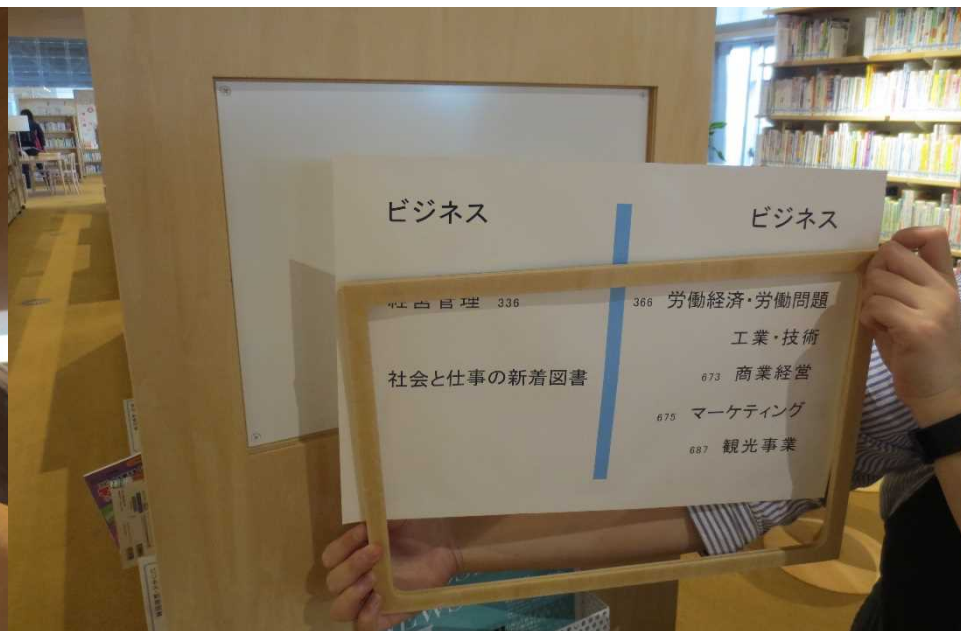


円谷幸吉選手(東京オリンピックマラソン銅メダリスト)



日本三大火祭 松明あかし

6 更新性に配慮したサイン計画



書架サイン

丸型サイン、側板サインともに、配架の変更にすぐ対応できるように設計された。
「本棚は生き物」。本の増減に伴い配置が変わったり、テーマ設定における内容の変更が発生したりする際、有効に機能する。

7 居心地の良い自由な空間



図書館 × テラス・サンルーム(交流スペースを含め飲食自由)
図書館に様々なシーンを設け それぞれがお気に入りの場所で過ごすことができる



市民交流センター整備プロジェクト

■市民交流センターが出来るまでの主な経過

平成25年 3月	復興まちづくり事業計画策定
平成25年11月～平成26年10月	基本設計策定
平成26年3月	認定中心市街地活性化基本計画策定
平成26年11月～平成27年12月	実施設計策定
平成27年5月	管理運営基本方針策定
平成28年3月	本体建設工事請負契約締結
平成30年7月	本体建設工事竣工
平成31年1月11日	開館

※開館からの1年間で、人口の約9倍にあたる66万人が来館し、市民交流の拠点、市民活動の拠点となっている。

須賀川市民交流センターtette 公式ホームページ <https://s-tette.jp/>

tette公式Instagram tette公式YouTube 開設しています。
公式ホームページからアクセスできます。
ぜひご覧ください。